

生徒・保護者の皆様へ

松戸市立[]中学校
校長 []

「文部科学大臣からのお願い」について

いじめを受けたことにより児童生徒が自らの尊い命を絶つという痛ましい事件が依然として発生しております。児童生徒が自らの命を絶つということは、理由の如何を問わず決してあってはならないことであり、深刻に受け止めております。

このような状況を踏まえ、標記の件について、文部科学省初等中等教育局長より通知がありました。このお願いは、文部科学大臣が、未来ある子どもたちへ、また、保護者の皆様はじめ大人社会一般の方々にいじめの防止と子どもの命を護らなければならないという強い訴えであります。

今現在、幸いにして本校では、このような痛ましい事件は発生していませんが、下記のような、いじめ防止の取り組みを実践しているところです。

生徒・保護者の皆様におかれましては、「文部科学大臣からのお願い」の趣旨をご理解いただくとともに、本校の取り組みにご協力を賜りますよう併せてお願い申し上げます。

記

1. 全教職員のいじめに対する意識調査（11月17日に実施済）
2. いじめに対する教職員の校内研修（11月27日に実施済）
3. いじめに関する実態調査・いじめ行為の洗い直し（11月28日に実施済）
4. 具体的ないじめ対策・指導
 - （1）社会規範の育成をめざした道徳授業の実施
 - （2）望ましい人間関係づくりのための学級活動の実施
 - （3）学年集会・全校集会によるいじめ防止の講話
 - （4）教師による巡回活動の実施（休み時間・昼休み・放課後等）
 - （5）生徒会によるいじめ防止キャンペーンの実施
 - （6）学校だより・ホームページ・保護者会等での情報の公開・提供

文部科学大臣からのお願い

未来のある君たちへ

弱いたちばの友だちや同級生をいじめるのは、はずかしいこと。

仲間といっしょに友だちをいじめるのは、ひきょうなこと。

君たちもいじめられるたちばになることもあるんだよ。後になって、なぜあんなはずかしいことをしたのだろう、ばかだったなあと思うより、今、やっているいじめをすぐにやめよう。

いじめられて苦しんでいる君は、けっして一人ぼっぢやないんだよ。

お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、きょうだい、学校の先生、学校や近所の友達、だれにでもいいから、はずかしがらず、一人でくるしまず、いじめられていることを話すゆうきをもとう。話せば楽になるからね。きつとみんなが助けてくれる。

平成十八年十一月十七日

文部科学大臣 伊吹 文明

文部科学大臣からのお願い

お父さん、お母さん、ご家族の皆さん、学校や塾の先生、スポーツ指導者、地域のみなさんへ

このところ「いじめ」による自殺が続き、まことに痛ましい限りです。いじめられている子どもにもブライドがあり、いじめの事実をなかなか保護者等に訴えられないとも言われます。

一つしかない生命。その誕生を慶び、胸に抱きとった生命。無限の可能性を持つ子どもたちを大切に育てたいものです。子どもの示す小さな変化をみつけるためにも、毎日少しでも言葉をかけ、子どもとの対話をして下さい。

子どもの心の中に自殺の連鎖を生じさせぬよう、連絡しあい、子どもの生命を護る責任をお互いに再確認したいものです。

平成十八年十一月十七日

文部科学大臣 伊吹 文明